

第2学年 国語科学習指導案

学年・組	第2学年1組	期 日	平成24年6月29日	授業者	T1:松島 俊二 T2:鈴木 亜季
------	--------	-----	------------	-----	-------------------

単元名	「できるようになったよ」
-----	--------------

この単元を通して児童につけさせたい言語能力

- ・時間の順序に気をつけて「始め・中・終わり」で構成する力。
- ・書き終わった文章を見直し、間違いなどに気付き、直す力（誤字脱字、句読点、既習の漢字、作文のルール）。

この単元で重点化する指導事項

領域	A 話すこと・聞くこと	指導事項	ア話題設定や取材 イ話すこと ウ話すこと エ聞くこと オ話し合うこと
	B 書くこと		ア課題設定や取材 イ構成 ウ記述 エ推敲 オ交流
	C 読むこと		ア音読 イ説明的な文章の解釈 ウ文学的な文章の解釈 エ自分の考えの形成及び交流 オ自分の考えの形成及び交流 カ目的に応じた読書
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		イ(オ)句読点の打ち方や、かぎ(「」)の使い方を理解して文章の中で使うこと。

上記の指導事項を踏まえて設定する言語活動

設定した言語活動 (言語活動例)	・「始め・中・終わり」で構成を書き、それに沿って文章を書く活動。 ・自分が書いた作文について見直し、修正する活動。
設定理由	・「始め・中・終わり」の構成を意識して文章を書くことが設定されている単元を、児童が学習するのは、本単元が初めてであるため。 ・これまでに自分が書いた文章を見直す機会があったが、間違い等に気付く児童は少なかった。本単元では推敲する場面も設定されているため、これを機会に文章を見直す習慣づけの一助とすると共に、推敲の仕方も指導したいと考えるため。
設定した言語活動の 系統	(1) 下学年での学習経験 なし ・ あり 【第1学年「おもいだしてかこう」「じゅんじょよくかこう」】 (2) 上学年へのつながり (第6学年までのつながり) なし ・ あり 【第3学年「心にのこったことを書こう」】

以上のことを踏まえ、家庭学習も考慮した指導計画

時	到達目標 (活動目標) 【評価】	学習活動	家庭学習	指導事項
取 事 前 組 の み			・自分ができるようになったことを3つ書いてくる。(プリント)	
1	できるようになったことを思い出し、今後の学習の見直しを持つ。【 関 ・ 書 】	・できるようになったことを思い出し、誰に伝えたいか考える。 ・学習の見直しを持つ。	・同じ内容で文章の順番が違う作文の中から、分かりやすい作文を選択する。(プリント)	B(1)ア
2	伝えたいことを「始め・中・終わり」の順で整理する方法を知ることができる。【 書 】	・「始め・中・終わり」の順に整理する方法を知り、整理の仕方を練習する。	・始めと終わりの部分を穴埋め式で書いてくる。(プリント)	B(1)イ
3 本 時	自分が伝えたいことを「始め・中・終わり」の順に整理することができる。【 関 ・ 書 】	・自分が伝えたいことを「始め・中・終わり」の順に整理する。	・文章を「始め・中・終わり」に並び替える。(プリント)	B(1)イ
4	ノート例と文章例の対応関係をとらえ、様子がよく分かる文章の書き方を知ることができる。【 書 】	・ノート例と文章例の対応関係をとらえる。 ・文章例から、文章の書き方を知る。	・作文を視写し、原稿用紙の使い方を復習する。(プリント)	B(1)イ
5 ・ 6	整理したことをもとに、ひとまとまりの文章を原稿用紙に書くことができる。【 関 ・ 書 ・ 言 】	・原稿用紙の使い方を復習する。 ・整理したことをもとに、文章を原稿用紙に書く。	・文章の間違いを見付け、線を引く。(プリント)	B(1)ウ 伝国イ(オ)
7 ・ 8	書いた文章を読み返す観点を知り、誤りを直すことができる。【 書 】	・書いた文章を読み返す観点を知り、直し方を練習する。 ・自分が書いた文章の誤りを直す。	・校正記号を使った文章を直す練習をする。(プリント)	B(1)エ
9 ・ 10	書いた文章を友達と読み合い、感想を伝え合うことができる。【 関 ・ 書 】	・読み合うときの観点を知る。 ・班で文章を読み合い、良かったところをメモし、友達に伝える。		B(1)オ

本 時		
目標 自分が伝えたいことを「始め・中・終わり」の順に整理することができる。		
展 開		
段階	学 習 活 動	○留意事項 ☆支援
導 入 (7分)	1 教科書 P.75 の「青山さんのノート」を音読する。 2 本時のめあてを確認する。 今日、青山さんのように、自分が作文に書きたいことを「始め・中・終わり」にまとめていきます。	○ 立って1回読ませる。 ○ 口頭でやることを伝え、展開部の作業時間を確保する。
展 開 (48分)	3 宿題でやってきたプリントの確認をする。 (1) 「始め」と「終わり」の部分を書いてきたことを確認する。 (2) 隣同士読み合い、字の間違い等ないかチェックする。 (3) 構成シートに視写する。 4 「中」の部分を書く。 (1) いつのことか書く。 (2) 最初はどうか書く。 (3) それからどうしたか書く。 (4) するとどうなったか書く。 (5) 最後にできたときのことを書く。 5 題名を書く。 6 構成シートを読み直し、間違い等ないかチェックする。 (1) 自分で読み直す。 (2) 隣同士交換してチェックする。	○ 宿題をやってきたことで、「始め」と「終わり」がすぐに出来上がったこと、そのおかげで時間のかかる「中」の部分に時間がとれることを伝え、宿題の有用感を高める。 ☆ T2 は、視写が苦手な子を中心に机間指導する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価規準</p> <p>【関・意・態】 構成シートに記述されている言葉をヒントにしたり、前時で使用したプリントを参考にしたりして、自分で構成シートを書き進めようとしている。 ☆ 前時で使用したプリントを見てもよいことや、教師に相談してもよいことを伝える。</p> <p>【書く能力】 「中」の部分を経験の順序に沿って書くことができる。 ☆ T2 は作文が苦手な子を中心に机間指導で個別対応し、T1 はその他の子を中心に机間指導する。</p> </div> ○ ひとつずつ全体で進めていく。 ○ 題名が思いつかない時は「できるようになったこと」でよいことを伝える。 ○ 隣同士読むことで、最初「始め」と「終わり」だけだったのが、「中」も入って内容が膨らんだことをお互いに認め合う。
終 末 (5分)	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の予告をする。 9 宿題プリントを渡す。	○ 振り返りシートを使い、項目に沿って振り返る。 ○ 次時は、構成シートを使った書き方を学習することを伝える。

おわり	中						はじめ	だい		
思ったこと	<p style="text-align: center;"> できるよ うに なるま での こと </p>						<p style="text-align: center;"> できるよ うに なった こと </p>			
<p style="text-align: center;">◎</p>	<p style="text-align: center;">●</p>	<p style="text-align: center;">できたとき</p>	<p style="text-align: center;">●</p>	<p style="text-align: center;">す</p>	<p style="text-align: center;">●</p>	<p style="text-align: center;">それから</p>	<p style="text-align: center;">●</p>	<p style="text-align: center;">●</p>	<p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">名まえ</p>
<p style="text-align: center;"> す から す た と き </p>										

ふりかえり カード

名まえ

☆ つぎの しつもん に こたえましよう。

◎…そう思う ○…まあまあ △…そう思わない

日にち	あ	い	う	え	お	か
<p>① きのうの 国語の しゅくだいのおかげで じゅぎょうが よく分かり、しゅくだいを ちゃんと やって よかったと 思う。</p>	①	①	①	①	①	①
<p>② 今日の 国語の ぶんぎょうは、よく 分かった。 「よくできた。」</p>	②	②	②	②	②	②
<p>③ 今日の しゅくだいを がんばって やってみようと思う。</p>	④	④	④	④	④	④

しゅくだいプリント

名まえ

1 入学してから今までに、学校生かつで できるようになったことを

三つ 書きましょう。

①	②	③
---	---	---

2 入学してから今までに、おうちの生かつで できるようになったことを

一つ 書きましょう。

①

☆ 次のさく文は、どちらもないようは おなじですが、書いているじゅんばんが ちがいます。どちらの さく文が 分かりやすいですか。分かりやすいと おもう方の □の中に ○を 書きましよう。

ぼくは、一りん車にのれるようになりました。

ひる休みに、まい日、校でいで一りん車のれんしゅうをしました。ぼくは、一りん車にじょうずにのれる木村くんと、いつもれんしゅうしていました。

さいしよは、足を地めんからはなすのがこわくて、なかなかのれませんでした。

それから、かべにつかまってれんしゅうしたのですが、バランスがとれなくて、すぐにおりてしまいました。すると、木村くんが、

「まい日、あきらめずにれんしゅうすると、できるようになるよ。ぼくも、さいしよはのれなかったんだ。」

と言って、はげましてくれました。ぼくは、それを聞いて、ゆう気がわいてきました。

それまでこわかったけど、思いきって、足を地めんからはなすようになりました。その日からまい日、ひる休みにれんしゅうをつづけました。

一か月ぐらいたつと、ぼくは、一りん車にのれるようになっていました。木村くんといっしょに一りん車ではしることもできるようになりました。

ぼくは、一りん車にのれるようになって、とてもうれしいです。木村くんが話したとおり、あきらめずにれんしゅうしてよかったと思います。

ひる休みに、まい日、校でいで一りん車のれんしゅうをしました。ぼくは、一りん車にじょうずにのれる木村くんと、いつもれんしゅうしていました。

さいしよは、足を地めんからはなすのがこわくて、なかなかのれませんでした。

それから、かべにつかまってれんしゅうしたのですが、バランスがとれなくて、すぐにおりてしまいました。すると、木村くんが、

「まい日、あきらめずにれんしゅうすると、できるようになるよ。ぼくも、さいしよはのれなかったんだ。」

と言って、はげましてくれました。ぼくは、それを聞いて、ゆう気がわいてきました。それまでこわかったけど、思いきって、足を地めんからはなすようになりました。その日からまい日、ひる休みにれんしゅうをつづけました。

一か月ぐらいたつと、ぼくは、一りん車にのれるようになっていました。木村くんといっしょに一りん車ではしることもできるようになりました。

ぼくは、一りん車にのれるようになって、とてもうれしいです。木村くんが話したとおり、あきらめずにれんしゅうしてよかったと思います。

ぼくは、一りん車にのれるようになりました。

☆ じぶんが さく文に 書きたい「できるようになったこと」について 書きます。 □ に ことばを 入れて、文を かんせいさせましょう。

○ できるようになったこと

が

できるようになった。

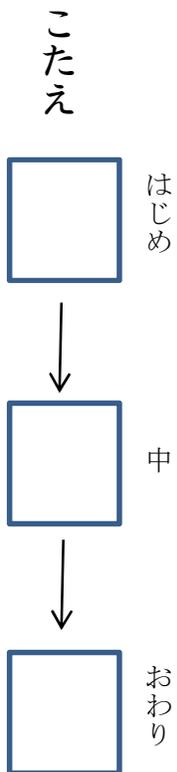
○ できるようになって 思ったこと

と 思った。

しゅくだいプリント

名まえ

☆ つぎの 三つを 「はじめ・中・おわり」の じゅんに ならべるとど
のような じゅんになりですか。㊦㊧㊨で こたえましょう。



㊦

土よう日のごごに、田中さんの家であそびました。雨がふっていたので、家の中
でおり紙をしました。
さいしよ、わたしは、おり紙がにが手なので、田中さんがおるのを見ていました。
それから、田中さんが、
「いっしょにおろう。」
と言ったので、田中さんにおそわりながら、つるをおりました。でも、さいしよに
おったつるは、しっぱいしました。がっかりしていると、田中さんがはげましてく
れました。
それから、何かいかつるをおっているうちに、じょうずにおれるようになりまし
た。田中さんのお母さんもほめてくれました。

㊧

わたしは、おり紙でつるをおれるようになりました。

㊨

おり紙でつるをおれるようになって、おり紙がおもしろいと思いました。こんど
は、べつなものをおれるようになりたいです。

しゅくだいプリント

名まえ

☆ 国語の教科書の 百二十四ページから 百二十五ページにある「こじま けんた」くんの さく文を ししやしましょう。教科書のとおりにかん字を 書いたり、行をかえたりしましょう。

つくりました。

おかあ

さんが、

ぼくは、

しゅくだいプリント

名まえ

☆ つぎの さく文には、なおしたいところが、ぜんぶで 十こ
あります。なおした方が、いいと思うところの 右がわに、
じょうぎで まっすぐに線を ひきましよう。

と	か	が	ま	な		ん	に	た	で		り	ぼ
言	っ	、	せ	す	さ	し	の	。ぼ	一	ひ	ま	く
つ	た	「	ん	の	い	ゆ	れ	く	り	る	し	は
て	ん	」	で	が	し	う	る	わ	ん	や	た	、
く	だ	ぼ	し	こ	し	し	木	、	車	す	。	一
れ	だ	く	た	わ	よ	て	村	一	の	み		り
ま	。	も	。	く	わ	、	く	り	れ	に		ん
し	が	、	。	て	て	足	ん	ん	ん	、		車
た	ん	さ	す	、	い	お	と	し	し	ま		の
	ば	い	る	な	ま	地	、	た	ゆ	い		れ
	れ	し	と	か	。	め	い		う	日		る
	。	よ	、	な		ん	つ		お	、		よ
		は	木	か		か	も		し	校		う
		の	村	か		ら	も		ま	て		に
		れ	く	の		は	れ		し	い		な
		な	ん	れ								

しゅくだいプリント

名まえ

☆ つぎの さく文には、なおしたいところが、ぜんぶで 十こ
あります。なおした方が いいと思うところを 学しゅうした
なおすしるしをつかって なおしましょう。

と	か	が	ま	な		ん	に	た	で		り	ぼ
言	っ	、	せ	す	さ	し	の	。ぼ	一	ひ	ま	く
つ	た	「	ん	の	い	ゆ	れ	く	り	る	し	は
て	ん	」	で	が	し	う	る	わ	ん	や	た	、
く	だ	ぼ	し	こ	し	し	木	、	車	す	。	一
れ	だ	く	た	わ	よ	て	村	一	の	み		り
ま	。	も	。	く	わ	い	く	り	れ	に		ん
し	が	、	。	て	て	ま	ん	ん	ん	、		車
た	ん	さ	す	、	し	し	と	し	し	ま		の
	ば	い	る	な	た	た	、	車	ゆ	い		れ
	れ	し	と	か	。		い	に	う	日		る
	。	よ	、	な			つ	じ	お	、		よ
		は	木	か			も	よ	し	校		う
		の	村	か			も	う	ま	て		に
		れ	く	の			れ	ず	し	い		な
		な	ん	れ								